

東京ガスにおけるアスベスト使用状況

	使用箇所等	現在の状況	対応状況等
ガス機器関連	家庭用ガス機器	<ul style="list-style-type: none"> 東京ガスブランド品については、平成7年以降新たに発売した商品には原則アスベストを含有する部品を使用しておりません。 平成7年以前から継続販売している商品のうち、CF（自然給排気方式）風呂釜の一機種のみで現在もアスベスト含有のパッキンを使用しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年以前発売の商品には、パッキン（ガス通路部、燃焼室内部等）等でアスベスト含有の部品が使用されていますが、露出していないことや成型品であることから飛散の可能性はほとんどありません。 CF風呂釜につきましては、平成17年9月製造分よりすべて非アスベスト部品への仕様変更を実施しました。
	業務用ガス機器	<ul style="list-style-type: none"> 東京ガスが販売もしくは受注する業務用ガス機器については、ガス空調やコージェネレーションシステム、ボイラー、業務用厨房機器等の一部の機種で、アスベスト含有のパッキンを使用しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 露出していないことや成型品であることから飛散の可能性はほとんどありません。 アスベスト含有部品を使用する一部の機種については、製造メーカーに対して可能な限り早期の非アスベスト部品への変更を要請します。
	フレキ管・ガス栓・遮断弁等	<ul style="list-style-type: none"> フレキ管継手、ガス栓類等のパッキンにはアスベスト含有製品は現在使用されていません。 コンロや給湯器を設置する際に周囲の可燃材と必要な離隔距離がとれない場合に使用する防熱板には、現在使用されていません。 風呂釜等とガス栓の接合に使用する強化ガスホースの継手に、現在もアスベスト含有のパッキンが使用されております。 主に業務用のお客さまに使用する遮断弁の一部で現在もアスベスト含有のパッキンが使用されております。 	<ul style="list-style-type: none"> フレキ管継手のパッキンには平成2年まで、ガス栓類のパッキンには一部で平成16年まで、防熱板には一部で平成4年まで、アスベスト含有の製品が使用されておりましたが、既に非アスベスト製に代替化されています。なお、露出していないことや成型品であることから飛散の可能性はほとんどありません。 強化ガスホース継手のパッキンは平成18年3月に、遮断弁のパッキンは平成17年中に、非アスベスト製品へ仕様変更の完了を予定しております。なお、露出しない箇所での使用や、成型品であることから飛散する可能性はほとんどありません。
ガス製造・供給設備	工場	<p><保温材・防熱材> 現時点で新たな使用はありませんが、過去に使用したものがあります。 ・アスベスト含有製品残数 約180m³（アスベストを含む製品ベース）</p> <p><シーリング材・ジョイントシート> 現時点で一部アスベスト含有の製品を使用しています。 ・アスベスト含有製品残数 約12万個</p>	<ul style="list-style-type: none"> 露出していない部分での使用や成型品のため飛散の可能性はほとんどありません。 過去に使用したのものについては、定期修理・整備等に合わせて順次、非アスベスト化を進めてまいります。また、現在でも一部で使用しているものについては、非アスベスト製品への代替化を検討してまいります。
	ガス導管、整圧器等	<p>現時点で使用しておりませんが、過去に使用したものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス導管等のパッキン残数：約9,000か所 ガス導管等のシーリング材残数：約4万2,000か所 	<ul style="list-style-type: none"> 露出していない部分での使用や成型品のため飛散の可能性はほとんどありません。 過去に使用したのものについては、定期修理・整備等に合わせて順次、非アスベスト化を進めてまいります。
自社建物	吹き付け	<p>将来的に対応が必要な使用場所は把握しており、順次除去いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物：9棟 整圧器室：4棟 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況を調査した結果、飛散する状況にはありません。 平成18年度までに除去する予定です。 除去するまでの期間は、劣化度調査、飛散度調査を実施し、安全に管理してまいります。
	建材	<p>これまで使用している建材中には含有していると考えられます。なお、アスベスト含有製品は使用しないよう発注仕様の変更を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 建材については、成型品のため飛散の可能性はほとんどありません。 建物の撤去、改修時には法令に基づき工事業者の暴露防止等に配慮するとともに、廃棄物の適正な処分を行います。